

甲賀の 特産品

隠岐の筍

春の食卓の一品たけのこ、

甲賀町隠岐では古くからたけのこが栽培されており、市内の代表的な産地です。

この地独特の粘土質の赤土が栽培に適しています。それに加え、自然有機栽培と生産者の丹精込めた細やかな世話が、甘くてやわらかいたけのこが育つ秘訣です。

こす技術は、熟練の農家の方だからこそできるものです。

たけのこは掘ってから茹でるまでの時間が短いほど美味といわれています。朝に収穫されたたけのこはその日のうちにJAなどで販売されます。新鮮なおいしいたけのこを味わえるのは、地元産ならではです。



本格的な、収穫の時期は、4月から5月上旬ですが、上質のたけのこを収穫するためには、前年から生育を良くするための日差しの確保、乾燥を防ぐ敷きわらなど、1年中世話は欠かせません。

収穫も非常に繊細です。地表が少し盛り上がり、先が見えるか見えないかのところで採るのが良いタイミングで、1日採るのが遅れると、それだけで味が変わってきます。

また、地中に埋まっています。たけのこを傷つけずに掘り起

問い合わせ

農業振興課 農産係

☎65-0712

FAX63-4592

くみおどり

組踊とは

沖縄の言葉によるせりふに、歌や舞踊を交えた音楽劇です。

沖縄が琉球王国であった時代、中国皇帝からの琉球国王任命の使者(冊封使)を歓待するため、踊奉行の玉城朝薫が、それまでの伝統芸能を集大成し、日本の能楽や歌舞伎なども取り入れて創作しました。1719年に初めて上演されて以来、組踊は琉球王府の庇護のもとで洗練され、宮廷芸能として発展していきました。

国の重要無形文化財に指定

その芸術的な価値の高さ、芸能史上の重要性から、昭和47年には国の重要無形文化財に指定されました。総合指定としては「雅楽」「人形浄瑠璃文楽」「能楽」「歌舞伎」について5番目の指定です。しかし、沖縄という限られた地域で伝承されてきたために、他の重要無形文化財にくらべて、全国的にはあまり知られていません。

そこで、現在、伝統組踊保存会と沖縄県教育委員会では、文化庁の支援を得て、組踊の普及活動を進めています。この特別鑑賞会は、国庫補助事業「重要無形文化財等公開事業」の一環として全国各地で行っているもので、今年度の開催地として甲賀市が選ばれました。貴重な公演です、この機会にぜひご覧ください。

重要無形文化財

沖縄組踊

特別鑑賞会を開催

独特な抑揚のせりふ使いが特徴で、三線や箏などの美しい音色や鮮やかな衣装など、組踊の幽玄な世界をお楽しみください。

日時	6月29日(日) 13時30分 開場 14時 開演
会場	あいこうか市民ホール
演目	第1部 沖縄伝統舞踊 第2部 組踊「伊祖の子」
入場料	無料(全席自由) 整理券が必要です。
整理券配布場所	あいこうか市民ホールほか

問い合わせ 文化振興課 文化振興係
☎62-2626 FAX62-2625